

2023年度日本政府(文部科学省)奨学金留学生選考試験

学科試験 問題

(専修学校留学生用)

日 本 語

注意 ☆ 試験時間は120分

☆ 答えは全て解答用紙に記入すること。

☆ 問題はA（初級）、B（中級）、C（上級）の三つあります。

(2023)

日本語

国籍 Nationality		番号 No.		点数 Marks	
氏名 Name	(フルネームを書いて、姓に下線を引くこと。 Please print your full name, underlining your family name.)				

問題

A

Elementary Level

I _____に ^{はい}入る ^{いち}一ばん ^{てきとう}てきとうな ものを A~Dの ^{なか}中から ^{ひと}一つ えらびなさい。

(例) わたしは ^{にほんご}日本語 _____ ^{べんきょう}勉強しています。

A が B を C に D へ

1 きのうち 12時^じ _____ ねました。

A ぐらい B ごろ C も D まだ

2 外国^{がいこく}の しゅうかん _____ なれるのに 時間^{じかん}が かかります。

A で B を C に D へ

3 _____ ^{わる}悪いものでも ^た食べたんでしょうか。気持ち^{きもち}が ^{わる}悪いんです。

A なにも B なにか C なんにも D なんて

4 みんなの ^{まえ}前で ^{にほんご}日本語を まちがえて、とても _____ です。

A はずかしかった B にかかった
C うつくしかった D すばらしかった

5 ことばの ^{い み}意味が わからない とき、辞書^{じしょ}を _____。

A ひきます B ききます C かきます D はきます

6 ごはんを _____ と したとき、電話^{でんわ}が かかって きました。

A ^た食べよう B ^た食べる C ^た食べた D ^た食べて

7 田中^{たなか}さんは あの ^{あお}青い _____ を している ^{ひと}人です。

A セーター B ネクタイ C シャツ D ズボン

8 バスが _____ ^こ来なくて、待ち合わせの ^{ま あ}待ち合わせの ^{じかん}時間におくれました。

A なるべく B けっして C なかなか D ぜったい

9 読^よんだ 本^{ほん}は 本^{ほん}だ^にに もどして _____ ください。

- A あって B おいて C うって D かりて

10 兄^{あに} _____ 英^{えい}語^ごを 教^{おし}えて もらいました。

- A で B を C に D へ

Ⅱ _____ と 一^{いち}ばん かんけい^が ある ものを A～Dの なか^{から} 一^{ひと}つ えらびなさい。

(例) けさ コーヒーを のみました。

- A きょうの あさ
B きょうの ゆうがた
C き^のうの あさ
D き^のうの ゆうがた

1 きょうは ひえますね。

- A 気^き持^もちが いいですね B 暖^{あた}かいですね
C いい 天^{てん}気^きですね D 寒^{さむ}いですね

2 店員^{てんいん}：「いらっしゃいませ。どうぞ 手^てに とって ごらんください。」

- A 着^きて ください B 食^たべて ください
C 見^みて ください D 行^いって ください

3 来月^{らいげつ} 両^{りょう}親^{しん}が 日^に本^{ほん}に 来^きます。

- A 兄^{あに}と 弟^{おとうと} B 姉^{あね}と 妹^{いもうと} C 父^{ちち}と 母^{はは} D 祖^そ父^ふと 祖^そ母^ぼ

4 うちで ふくしゅうを しました。

- A きょう 学^が校^{っこう}で 勉^{べん}強^{きやう}した ところを うちで もう一度^{いちど} 勉^{べん}強^{きやう}しました
B あした 学^が校^{っこう}で 勉^{べん}強^{きやう}する ところを うちで 勉^{べん}強^{きやう}しました
C うちで 学^が生^{せい}が 着^きる 服^{ふく}を 考^{かん}えました
D うちで 服^{ふく}の 作^{つく}り方^{かた}を 勉^{べん}強^{きやう}しました

5 熱^{ねつ}があるときは、学校^{がっこう}を休^{やす}んで ください。

A 熱^{ねつ}が あったり

B 熱^{ねつ}が あると

C 熱^{ねつ}が あっても

D 熱^{ねつ}が あったら

6 いくら さがしても、見^みつかりませんでした。

A よく さがしましたが、ありませんでした

B いっしょうけんめい さがして、やっと 出^でてきました

C 何^{なん}度も 言^いいましたが、さがしませんでした

D 何^{なん}回^{かい}も さがして、どこに あるか わかりました

7 来^{らい}月^{げつ} 大^{おお}阪^{さか}に 行^いく 予^よ定^{てい}でしたが、行^いけなく なりました。

A 行^いきたがりました

B 行^いった つもりでした

C 行^いく つもりでした

D 行^いって しまいました

8 田^た中^{なか}さんに 「どうも すみませんでした。」と 言^いいました。

A おい^いわいを 言^いいました

B おみ^いまいを 言^いいました

C あや^あまりました

D 注^{ちゅう}意^いしました

9 最^{さい}近^{きん}、海^{かい}外^{がい}旅^{りょ}行^{こう}に 行^いく 人^{ひと}が ずい^{ずい}ぶ^ぶん 増^ふえました。

A 少^{すこ}し 多^{おお}く なりました

B だ^だい^だぶ 多^{おお}く なりました

C け^けっ^くこう 少^{すく}なく なりました

D ち^ちょ^ょっ^くと 少^{すく}なく なりました

10 あ^あの 人^{ひと}は ぜ^ぜっ^った^たい そ^そん^んな こ^こを し^しな^ないと 思^{おも}います。

A あ^あの 人^{ひと}は かな^{かな}らず そ^そん^んな こ^こを す^する^るで^でし^しょう

B あ^あの 人^{ひと}は そ^そん^んな こ^ことし^しか でき^{でき}ませ^{せん}ん

C あ^あの 人^{ひと}は そ^そん^んな こ^こを し^しな^なければ な^なり^りませ^{せん}ん

D あ^あの 人^{ひと}が そ^そん^んな こ^こを す^する は^はず^ずが あ^あり^りませ^{せん}ん

Ⅲ _____に ^{はい} 入る ^{いち} 一ばん てきとうな ものを A～Dの ^{なか} 中から ^{ひと} 一つ えらびなさい。

- 1 ^{はは} 母：「いってらっしゃい。きょうも ^{おそ} 遅くなるようなら、^{でんわ} 電話してね。」
^こ 子：「うん。____、きょうは ^{はや} たぶん ^{かえ} 早く 帰れるよ。」

A そして B それに C それで D でも

- 2 ^{たなか} 田中さん：「きょうは ^き 来て ^き くれて ^{かえ} ありがとう。気を ^き つけて ^{かえ} 帰って
くださいね。」

^{やまだ} 山田さん：「こちらこそ ^き ありがとうございました。_____。」

A いってきます B しつれいします
C おかえりなさい D こんばんは

- 3 ^{たなか} 田中さん：「すみません、ちょっと _____ ^{こと} が ^{ある} んですが……。」

^{やまだ} 山田さん：「はい。」

^{たなか} 田中さん：「この ^{しりょう} 資料を ^{あしたの} あしたの ^{かいぎ} 会議で ^{つか} 使うので、コピーを ^{して} して
おいて ^{もらえ} ませんか。」

^{やまだ} 山田さん：「わかりました。」

A たのみたい B なりたい
C はこびたい D まに あいたい

- 4 ^{やまだ} 山田さん：「あした ^{たいふう} 台風が ^く 来るみたいだけど、大学の ^{だいがく} 授業は ^{じゅぎょう} あるのかな。」

^{たなか} 田中さん：「_____。先生に ^き 聞いて ^き みよう。」

A どうだろう B うん、そうしたいね
C ううん、ちがうよ D そうじゃ ないよ

- 5 レストランの店員てんいん : 「_____。ハンバーグ・セットの 客きやくさまは……。」
- 田中さんたなか : 「あ、わたしです。」
- レストランの店員てんいん : 「熱あついので お気きを つけて おめしあがりください。」

- A いかがですか
B おまたせしました
C いただきます
D ただいま

Ⅳ の ひらがなと ^{おな}同じ ^{かん}漢字で ^じかくものを A～Dの ^{なか}中から ^{ひと}一つ えらびなさい。

(例) 山の 天気は よく かわります。

- A 来月の 十かは 休みです。
B 今日は かよう日です。
C 弟は へんな 服を きています。
D 本を よみます。

山の 天気は よく 変わります。

- A 十日 B 火よう日 C 変 D 読みます

答え. C

- 1 日曜日の 都ごうは とうですか。
- A 暑いですから、まどを あ けましょう。
- B 走ったので、授業に 間に あ いました。
- C ビルの 屋上に あ がりました。
- D きのう、駅で 山田先生に あ いました。
- 2 父は 病気で にゅう 院して います。
- A 60歳 い 上の 人は 無料です。
- B 自分の い 見は はっきり 言った ほうが いいです。
- C 大学を 出たら い 者に なりたいと 思って います。
- D 映画館の い り口で 待って いて ください。

3 私の 町の 図 しょ 館は 公園の 中に あります。

A 毎週 土曜日に 家族と か い物に 行きます。

B 先生に 日本語の 本を か りました。

C 友だちが 急いでいたので、自転車を か して あげました。

D 毎日 漢字を か いて 練習しています。

4 彼女は みんなに 親 せつ です。

A 台風で 大きい き が たおれました。

B 寒いので、あつい コートを き ました。

C ケーキを 8つに き りましょう。

D 休みの あいだ、元 き でしたか。

5 父は タクシーの 運転 しゅ です。

A 質問が あったら、て を あげて ください。

B お風呂に 入って、からだ を あらいました。

C テレビを 見すぎて、め が 悪く なりました。

D たくさん 歩いて、あし が いたいです。

V つぎ ぶん よ と こた こた なか もっと てきとう
次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適切なものを一つ選びなさい。

(1) せ かい まん せんしゅるい さかな
世界には2万5千種類ぐらいの魚がいます。ほとんどの魚は生まれてから死ぬ
まですつと うみ かわ みずうみ みず なか みず で さかな たと
海や川、湖の水の中にいますが、水から出る魚もいます。例えば、
ある しゅるい さかな たまご う ほか どうぶつ たまご た かいがん で
種類の魚は卵を生むとき、他の動物に卵を食べられないように、海岸に出
て すこ ある すす たまご う おお どうぶつ た
少し歩くように進んでから卵を生みます。大きい動物に食べられそうになっ
たときに、 みず で 200メートルぐらい と に さかな
水から出て200メートルぐらい飛んで逃げる魚もいます。ほとんど水
の なか はい およ なが て さかな
中に入らない、泳ぐのが苦手な魚もいるそうです。

と ぶん ないよう あ
問い1 文の内容に合っているものはどれですか。

- A おお さかな みず で
多くの魚は水からほとんど出ません。
- B さかな たまご う みず で
ほとんどの魚は、卵を生むために水から出ます。
- C おお どうぶつ た かいがん ある さかな
大きい動物に食べられそうなとき、海岸を歩く魚がいます。
- D およ そら と ほう じょうず さかな
泳ぐより空を飛ぶ方が上手な魚がいます。

(2) た なか に ほん ちゅうがっこう すうがく おし なつやす がいこく りょこう い
田中さんは日本の中学校で数学を教えていました。夏休みに外国に旅行に行っ
て、そこで ビール の 飲みました。そのビールがとてもおいしかったので、 た なか
さんはそこの人 ひと つく かた き かえ た なか くに かえ がっこう
に作り方を聞いて帰りました。田中さんは国に帰ってから、学校の
しごと かいしゃ つく た なか かいしゃ
仕事をやめて、ビールの会社を作りました。田中さんの会社のビールはいろいろ
なところで う ゆうめい た なか じぶん かいしゃ つく
売られて、とても有名になりました。田中さんは、自分の会社で作っ
た ビール の つく かんが
たビールが飲めるレストランも作りたくて考えています。

と ぶん ないよう あ
問い2 文の内容に合っているものはどれですか。

- A た なか に ほん の つく かた おし
田中さんは日本でおいしいビールを飲んで、作り方を教えてもらいました。
- B た なか かいしゃ つく あと がっこう しごと
田中さんはビールの会社を作った後で、学校の仕事をやめました。
- C いま ひと た なか かいしゃ し
今、たくさんの人が田中さんの会社のビールを知っています。
- D た なか いま かいしゃ しゃちょう
田中さんは今、ビールの会社とレストランの社長です。

(3) 世界には、朝に仕事や勉強をするのが得意な「朝型」のひとと、反対に、夜に活動する方が好きな「夜型」のひとがいます。日本には、朝型のひとでも夜型のひとでも30%ずついて、どちらでもないひとが40%ぐらいいるそうです。朝型のひとが夜型に、夜型のひとが朝型になるのは難しいという研究結果もあります。日本の会社は朝早くから始まるころが多いですが、会社に行く時間や帰る時間を選ぶ会社も増えていて、夜型のひとでも働きやすくなってきています。

と 問い 3 文の内容に合っているものはどれですか。

- A 夜型の人は朝より夜に仕事や勉強をするのが得意です。
- B 日本には朝型でもなく、夜型でもないひとが30%ぐらいいます。
- C 人は朝型になるか、夜型になるか、自由に選ぶことができます。
- D 日本ではどの会社でも、会社に行く時間と帰る時間を自分で決められます。

(4) 山田さんの趣味はいろいろなものを修理することです。子どものころから壊れたものを修理してまた使えるようにするのが好きで、今までにテレビやエアコン、自転車などの修理をしました。家族や友だちからもらった古いものを修理して自分で使いますから、あまり新しいものは買いません。今、山田さんは大学で電気やコンピューターについて勉強しながら、電気屋さんでアルバイトをしています。山田さんの夢は修理が専門の、自分の店を持つことです。

と 問い 4 文の内容に合っているものはどれですか。

- A 山田さんは大学に入ってから修理が趣味になりました。
- B 山田さんは新しいものを買ったことはありません。
- C 山田さんは電気やコンピューターが専門の大学生です。
- D 山田さんは修理が専門の店で働いています。

(5) A町にはおもしろい天気予報があります。A町の南に大きいパンの工場があります。A町に雨が降る前、いつも南から風がふきます。南から風がふくと、町中でパンのおいしそうなおいがします。それで、A町に住んでいる人たちはパンのにおいがすると、もうすぐ雨が降ることがわかります。でも、土曜日と日曜日はパンの工場は休みです。土曜日と日曜日はパンのにおいがしませんから、A町の人は土曜日と日曜日はテレビの天気予報をよく見るそうです。

と
問5 文の内容に合っているものはどれですか。

- A A町に雨が降っているとき、いつもパンのにおいがします。
- B A町の人は、パンのにおいで今から雨が降ることがわかります。
- C A町のパンの工場では、毎日パンを作っています。
- D A町の人は、ぜんぜんテレビの天気予報を見ません。

問題

B

Intermediate Level

I _____^{はい もっと てきとう}に入る 最 も適 当 なものをA～Dの中 か ら一 つ選 びなさい。

- 1 ^{わす} 忘 れ物 をしたことに^き 気 がついて、うちに_____。
A ^ひ 引 き受 けた B ^ひ 引 き返 した C ^う 受 け持 った D ^う 受 け取 った
- 2 ^{こうじ} 工 事 が終 わるのに、^お 一 っ たい何 年 かか る_____。
A ことか B ものではない C ことだ D ものだ
- 3 _____^{ひと はな}は 人 に話 すとす っ きりし ますよ。
A ^{ざんねん} 残 念 B ^{なっとく} 納 得 C ^{ひてい} 否 定 D ^{なや} 悩 み
- 4 ^{かれ かぞく} 彼 は家 族 の^{きたい} 期 待 に_____、^{いちりゅう きぎょう} 一 流 企 業 に^{しゅうしょく} 就 職 した。
A ^{くら} 比 べて B ^{かん} 関 して C おいて D こたえて
- 5 ^{そぼ} 祖 母 はい つも _____^{もんく い} 文 句 を言 っ ている。
A ぶつ ぶつ B おの おの C ごろ ごろ D ひろ びろ
- 6 これは^{どうりょう} 同 僚 と ^{かんが} 考 え _____^だ 出 した ^{けつろん} 結 論 です。
A ぬいて B たてて C めぐ っ て D かけて
- 7 この^{しゃしん} 写 真 を見 っ ていると、^こ 子 ども のころ の _____^{きも} 気 持 ち を ^{おも} 思 い ^だ 出 す。
A ^{らんぼう} 乱 暴 な B ^{かいてき} 快 適 な C ^{じゅんすい} 純 粋 な D ^{じょうひん} 上 品 な
- 8 ^{いま} 今 の ^{きも} 気 持 ち は、^{ことば} こと ば で は _____^{よう} よう が ない。
A ^{あらわ} 表 す B ^{あらわ} 表 し C ^{あらわ} 表 した D ^{あらわ} 表 そう
- 9 ^{けい き} 景 気 が ^{わる} 悪 くな る 一 方 な ので、^{いっぽう} 会 社 経 営 か ら は ^{かいしゃけいえい} 手 を _____^て こと に した。
A ^み 見 る B ^う 打 っ C ^あ 上 げ る D ^ひ 引 く
- 10 さわ る な と 言 わ れ る と、さ わ り た く て _____。
A ない ではない ら れ ない B こと も ない
C ない こと は ない D し ょ う が ない

Ⅱ _____ と ^{おな} ^{ないよう} ほぼ同じ内容のもの、または、 _____ と ^{もっと} ^{かんけい} 最も関係のあるものをA～D
の ^{なか} ^{ひと} ^{えら} 中から一つ選 ^{えら} びなさい。

- 1 ^{じゅぎょう} 授業を サボ っていたので、^{べんきょう} ^{ないよう} 勉強の内容がわからなくなりました。
A まとめて B そろえて C なまけて D かんがえて
- 2 ^{しよるい} ^{じゅん} ^び 書類は準備が でき たら ^{おく} すぐお送りします。
A できてさえ B ^{いっぽう} できる一方で C できた ^し ^{だい} とたん D でき次第
- 3 ^{けっしん} 決心が つか なかったので、あいまい に ^{こた} 答えた。
A ちゃんと ^{こた} 答えた B はっきり ^{こた} 答えなかった
C ^{みじか} ^{こた} 短く答えた D てきとうに ^{こた} 答えなかった
- 4 ^{さけ} ^の お酒を飲んだら、うんてん ^{うんてん} してはいけない。
A ハンドルを ^{にぎ} 握って B タイヤを ^も 持って
C スピードを ^だ 出して D ブレーキをかけて
- 5 よりよい仕事 ^し ^{ごと} を求めて ^{もと} 外国 ^{がいこく} に ^{うつ} 移る若者 ^{わかもの} が ^{おお} 多く、この国 ^{くに} の人口 ^{じんこう} は へ 減りつつある。
A ^{きゅう} ^へ 急に減った B ^{すこ} ^へ 少しずつ減っている
C そのうち ^へ 減りそうだ D ^へ 減ってしまった
- 6 ^{あた} ^ら 新しいプロジェクトの ミーティング ^{ミーティング} をする。
A ^く ^あ 組み合わせ B ^も ^あ 持ち合わせ C ^う ^あ 打ち合わせ D ^と ^あ 問い合わせ
- 7 この地域 ^{ちいき} ではどのような ^や ^{さい} ^{くだもの} ^{つく} 野菜や果物が作られていますか。
A ^{げんさん} 原産 B ^{さん} ^ち 産地 C ^{さくもつ} 作物 D ^{もの} ^{おき} 物置
- 8 「どうぞ おかけ になってください。」
A すわって B ^た 食べて C ^{はい} 入って D ^き 着て
- 9 あの美術館 ^{びじゅつかん} は ^{おお} 大きくはないが、たくさんの ^み ^{ごと} ^{さくひん} 見事 な作品がある。
A もったいない B なつかしい
C めずらしい D すばらしい

10 約束した^{やくそく}以上^{いじょう}は、守^{まも}らなければならない。

- A からといって B からいうと C からして D からには

Ⅲ _____^{はい もっと てきとう}に入る 最^なも適^{ひと}当^{えら}なものをA～Dの中から一つ選^{えら}びなさい。

1 田中^{たなか}さん：「こちらが私^{わたし}たちの会社^{かいしゃ}で新^{あら}たに開^{かい}発^{はつ}したソフトウェアなんですが、
ぜひ御社^{おんしゃ}でもお使^{つか}いいただけませんか。」

山田^{やまだ}さん：「_____^{いち ど}ので、一^い度^ち、社^{しゃ}に持^もち帰^{かえ}って検^{けん}討^{とう}させてください。」

- A ^{はな あ}話^わし合^あうというものではない B ^{いま き}今^{いま}、決^きめずにはいられない
C ^{わたしひとり}私^{わたし}一人^{ひとり}では決^きめかねます D ^{かいぎ}会^{かい}議^ぎをしないことはない

2 医^い者^{しゃ}：「今^き日はどうしましたか。」

患^{かん}者^{じゃ}：「1週^{しゅう}間^{かん}ぐらい前^{まえ}から、のどが痛^{いた}いんです。熱^{ねつ}はないので様^{よう}子^すを見^みていた
んですが、痛^{いた}みが続^{つづ}いているので……。」

医^い者^{しゃ}：「口^{くち}を大^{おお}きく開^あけてください。ああ、_____。」

- A ^{あか}やはり赤^{あか}くなっていますね B ^{いた}もう痛^{いた}くないですね
C ^{ねつ}熱^{ねつ}が^で出ていませんね D ^{なお}治^{なお}っていますね

3 田中^{たなか}さん：「このレポ^{あした}ートのしめきり、明^{あした}日までだったよね。」

山田^{やまだ}さん：「_____^{かくにん} ちよっと確^{かく}認^{にん}してみる。」

- A そうだったっけ。 B そんなこともし^しらないの？
C そうしたいなあ。 D どうしてそんなこと言^いったの？

4 田中さん：「すみません、これ昨日ここで買ったんですけど、サイズが合わなかった
たので返品をお願いしたいんですが。」

店員：「かしこまりました。_____。」

田中さん：「あ、はい。」

店員：「ありがとうございます。それでは、手続きをいたしますので、少々
お待ちください。」

A サイズはいいですか

B レシートはお持ちですか

C 何時ごろでしたか

D ここで買いましたか

5 田中さん：「部長、新しいプロジェクトの資料を作ったので、見ていただけ
ませんか。」

部長：「早速作ってくれたのか。どれどれ……。うん、きれいにまとまって
いて見やすいよ。」

田中さん：「ありがとうございます。ただ、3ページのデータのところが気にな
るんですが、そちらはいかがでしょうか。」

部長：「そうだなあ、_____。」

田中さん：「やはり、そうですか。前の資料を参考にして、修正してみます。」

A よくできているから、直すところはないと思うよ

B 確かに、見せ方をもう少し工夫したほうがいいかもしれないな

C 新しいプロジェクトについてわかりやすいまとめ方だな

D ぜんぜんわからないから、資料を全部変えたほうがいいよ

Ⅳ _____のひらがなと同じ漢字で書くものを A～Dの中から一つ選びなさい。

1 電車でお年よりに席をゆずった。

A 日本は四きがはっきりしていると言われている。

B 1か月で100万円のき付が集まった。

C 雨のため、屋外イベントが延きになった。

D 母は音楽が好きで、家にはいろいろな楽きがある。

2 みんなで知えを出し合って、大学のイベントの準備を進めた。

- A ボランティア活動をしたけい験がある。
- B 雨の日は、道路がこむけい向にある。
- C あの画家はいなかの風けいをえがくのが好きだ。
- D 私たちは自然の恩けいを受けて生きている。

3 うちの畑では、様々な野菜がとれる。

- A テストの後、先生はすぐにさい点をした。
- B これは実さいにあった話だ。
- C 地震でこわれた家がようやくさい建された。
- D 明日はさい日で、仕事は休みだ。

4 着物を着るときはおびが必要だ。

- A スター選手の引たいが発表された。
- B このアニメは子どもをたい象としている。
- C このあたりは工業地たいで一日中うるさい。
- D 目的地は遠いので、交たいで運転しよう。

5 母はいつもきれいにりんごのかわをむく。

- A 楽しい内容のドラマだと思っていたら、実はひ劇だった。
- B 今回の台風では多くの家がひ害を受けた。
- C 姉はいつも私にひ肉ばかり言う。
- D 彼はうわさを完全にひ定した。

V つぎ ^{ぶんしょう} 文章 ^よ を読んで、あとの問いに ^{こた} 答えなさい。答えはA～Dの中から ^{なか} 最も ^{もっと} 適切な ^{ことば} ものを一つ ^{ひと} 選びなさい。

かい わ ^{じぶん} は ^{はな} 自分は、自分の話したことがきちんと相手に受け止められると思うことによって、お互いに盛り上がる。きちんと受け止めたかどうかを示すのが、(1) ^{あいて} ^う ^と ^{おも} ^{たが} 相手の言っていることを自分の言葉で言い換えるというレスポンス（応答）だ。「なるほど」、「そうですね」、「たしかに」といった相槌だけでも、会話は潤滑油を注がれたように滑らかになる。

この相槌をより高度にしたものが「自分の言葉で言い換える」ということだ。相手の ^{あいて} ^{ことば} ^{おもう} ^{がえ} 言葉を鵬鵠返しにするだけでも、会話のリズムはよくなる。それをバージョンアップ

させて、言葉^{ことば}を換えて同じ内容を言い換えることができれば、相手の言っている内容をしっかりと理解^{りかい}しつかまえていることが、相手側^{あいて がわ}にもはっきりと伝わる。「同じ内容を自分の言葉^{じぶん ことば}で言い換えてみよ」という課題^{かだい}は、幼い頃^{おきな ころ}から繰り返し練習^{く かえ れんしゅう}する価値^{か ち}のあるものだ。この(2)「言い換え力^{い か りょく}」は、コミュニケーション^{な か}の中でもっとも基礎^{き そ て き}的なもののひとつだ。

自分の言葉^{じぶん ことば}で言い換えるためには、語彙^{ご い}が豊富^{ほう ふ}である必要がある。それは読書^{ひつよう}によって効率^{どうりつ}よく鍛え^{きた}られるものだ。言い換え^{い か}にはコツ^{ちゅうしやうてき}がある。抽象^{ぐ たいてき}的なものは、具体^{すこ}的なもの^{すこ}に少し直し、具体^{すこ}的な発言^{ちゅうしやう}に対しては、少し抽象^{たか}度の高い言い方^{い かた}で言い換える。

新書系^{しんしよけい}の本の場合は、論旨^{ろんし}が具体例^{ぐ たいれい}とセットになって書かれて^かいることが多い。一般的^{おお いっぱんてき}な言い方^{い かた}の文章^{ぶんしやう}の後に、「たとえば」というように例^{れい}が挙げ^あられる。これを二人^{ふたり}の会話^{かいわ}で行^{おこな}うということだ。一般的^{いっばんてき}な発言^{はつげん}に対しては具体例^{ぐ たいれい}を、具体例^{ぐ たいれい}を相手^{あいて}が挙げ^あれば、それを一般^{いっばん}化する。こうしたやりとりによって、幹^{みき}を失^{うしな}わない、しかも起伏^{きふく}のある会話^{かいわ}ができる。

(3) 会話^{かいわ}をしていて相手^{あいて}が喜^{よろこ}ぶのは、自分のい^{じぶん}った話^{はなし}が無駄^{むだ}に終わらず^おきちんと相手に届^{あいて}いて、しかも生^いかされていると感じ^{かん}る場合^{ばあ}だ。それが具体^{ぐ たいてき}的にはっきりするのは、相手の話^{あいて}の中に自分の言^いったキーワード^{かん ばあ}が入^{ぐ たいてき}り込^{はい}んでいるかどうかである。自分の発言^{はつげん}の中でも、重要^{じゅうよう}だと自分^{じぶん}が感^{かん}じていた言葉^{ことば}（キーワード）を相手^{あいて}が使^{つか}ってくれば、それだけでも会話^{かいわ}に勢^{いきお}いが出てくる。

しかしこの程度^{ていど}のことならば、読書^{どくしよ}をしなくても何とかできるかもしれない。読書経験^{どくしよけいけん}が生^いきてくるのは、五分前^{ごふんまえ}、十分前^{じふふんまえ}、二十分前^{にじふふんまえ}に話^{はなし}された相手^{あいて}の言葉^{ことば}を引用^{いんよう}して会話^{かいわ}に組み込^{くみこ}める技^{わざ}においてだ。現在^{げんざい}の文脈^{ぶんみやく}そのものには出^でてこない、いわば、すでに地下^{ちか}に潜^{もぐ}ってしまった水脈^{すいみやく}を、もう一度掘^いり起^おこすのである。

その言葉^{ことば}を話^{はなし}した当人^{とうにん}でさえも、今の時点^{いま じてん}では意識^{いしき}していない言葉^{ことば}を、もう一度舞^い台^{ちど}に上^ふげる。すると、相手^{あいて}は自分の過去^{じぶん か}に話^{はなし}した話^{はなし}と現在^{げんざい}の話^{はなし}とが結びつくのを感じ^{かん}、自分^{じぶん}の中に脈絡^{みやくらく}ができたことを喜^{よろこ}ぶ。もっとも気^きが利^きいているのは、話^{はなし}している相手^{あいて}が繋が^つがっていないものをつなげてあげるということだ。こうしたことができるためには、相手^{あいて}の言葉^{ことば}をしっかりと押^おさえおく必要がある。この力^{ひつよう}をつけるためには、「(4) メモを取る習慣^{しゅうかん}」が必要^{ひつよう}だ。

私^{わたし}はちょっとした会話^{かいわ}でも、簡単^{かんたん}なメモを取る。図^ずにすることもある。メモを取^とっておけば、相手^{あいて}の話^{はなし}の脈絡^{みやくらく}がつかみやすい。会話^{かいわ}をクリエイティブにするには、自分^{じぶん}の思考^{しこう}と相手^{あいて}の思考^{しこう}とを混^まぜ合^あわせることが必要^{ひつよう}だ。自分の言^いいたいことだけ言^いって終^おわりという人^{ひと}をしばしば見^みかける。これは思考^{しこう}のすり合^あわせができていないケースだ。メモを取る習慣^{しゅうかん}のある人^{ひと}は、自分^{じぶん}の脈絡^{みやくらく}だけで話^{はなし}をしないようになる。

(齋藤孝『読書力』より、一部表記を改めた)

問い 1 下線部 (1) 相手の言っていることを自分の言葉で言い換える ということについて正しいものはどれですか。

- A 「なるほど」、「そうですね」といった言葉を返すことである。
- B 相手の言葉をそのままくり返すことである。
- C 相手の言っていることと内容の点では変わらない。
- D 相手には言い換えたということがわからない。

問い 2 下線部 (2) 「言い換え力」 について間違っているものはどれですか。

- A 読書をするのが役に立つ。
- B 相手が抽象的なことを言ったら、それを具体的なものに直す。
- C 子どものころからたくさん練習してのばすのがよい。
- D 相手が言った一般的なことを、もっと抽象的なものにする。

問い 3 下線部 (3) 会話をしている相手が喜ぶ のはどんなときですか。

- A 自分が役に立つと思っている言葉が、話し相手にも役に立ったとき。
- B 自分が重要だと思っていることを、話し相手が知らなかったとき。
- C 自分が忘れてしまった言葉の意味を、話し相手が教えてくれたとき。
- D 自分が少し前に話した言葉を、話し相手が引用して使ってくれたとき。

問い 4 下線部 (4) メモを取る ことについて正しいものはどれですか。

- A メモを取る人は、自分が言いたいことをはっきりさせることができる。
- B メモを取ることで、相手が言ったことと自分の考えとをつなぐことができる。
- C メモを取るよりもっといいのは、相手が言ったことを図にすることである。
- D メモを取るためには、相手が言ったことをすべて聞き取る必要がある。

問い 5 この文章の内容に合っているものはどれですか。

- A 会話をよりよいものにするためには、話し相手が言ったことの中でどこが重要かを理解する必要がある。
- B 話し相手が言ったことをそのままくり返すことができるようになるためには、たくさん読書をするといよい。
- C 会話を楽しむためには、自分のキーワードを自分の話の中に何回か入れていくといよい。
- D メモを取ると、自分の言いたいことだけを言って、会話を早く終わらせることができる。

問題

C

Advanced Level

I _____に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

- 1 このプロジェクトの成功は、みなさまのご協力 _____ ものと感謝しています。
A あっての B こその C ですら D きっとの
- 2 その選手は厳しいトレーニングを重ねて、 _____ とした体つきになった。
A びっしょり B げっそり C がっくり D がっしり
- 3 彼はダイエットのしすぎで病気になり、入院する _____。
A しまつだ B あまりだ C すえだ D いたりだ
- 4 国の将来を _____ 子どもたちの教育に、もっと力を入れなければならない。
A そむく B かばう C になう D あかす
- 5 試合に _____、妹はすっかり元気をなくしてしまった。
A 負けんがため B 負けるかたわら
C 負けてからというもの D 負けたあげく
- 6 古くから伝わる大切な伝統を _____ いかなければならない。
A 受け継いで B 受け付けて C 受け流して D 受け持って
- 7 突然、支社への _____ が決まって驚いた。
A 転移 B 移住 C 異郷 D 異動
- 8 今年の社員研修は、終始いい _____ だった。
A ポーズ B ムード C フォーム D ブーム
- 9 政府は十分な議論をしないまま、その議案を _____ 採決した。
A 強力 B 強制 C 強行 D 強化
- 10 うちの子は _____ にくわないことがあると、すぐに泣いて大声を出すので困っている。
A 体 B 気 C 目 D 心

Ⅱ _____ とほぼ同じ内容のもの、または、_____ と最も関係のあるものをA～Dの中から一つ選びなさい。

1 いつもは部屋をきれいにしているのに、散らかしているときだけ客が来る。

A にわたって B にかけて C にいたって D にかぎって

2 会議で新事業のだいたいの内容について説明する。

A 大幅な B 大まかな C 完璧な D 活発な

3 弱い者をだまして金を取るなど、人としてあってはならない行為だ。

A あらずもがな B ありふれた
C あるともない D あるまじき

4 うちの犬は私を見ると、飛びつきような勢いでこちらに走ってきた。

A 飛びついてやまない B 飛びつきっぱなしの
C 飛びつくにたえない D 飛びつかんばかりの

5 片づけたそばから子どもに部屋を散らかされてしまう。

A 片づけてもすぐに B 片づけてしばらくたってから
C 片づけようと思うが D 片づけられないので

6 故障したボートがふらふらと浮いているのが発見された。

A とろけて B ただよって C たまわって D とうとんで

7 この企業は積極的に地域に貢献する事業を行っている。

A 事業に成り立っている B 事業に組み込んでいる
C 事業に取り組んでいる D 事業に放り込んでいる

8 彼は遅刻や無断欠勤を繰り返し、とうとう会社をやめさせられた。

A 首になった B 顔になった C 頭になった D 足になった

9 いつまでたっても彼女があんなことを言ったのは腑に落ちない。

- A 訂正できない B 納得できない
C 感心できない D 対応できない

10 決められている書類に必要な事項を書いて、提出してください。

- A 所蔵の B 所定の C 所属の D 所在の

Ⅲ _____に入る最も適当なものをA～Dの中から一つ選びなさい。

1 田中さん：「わあ、すごい人。開店前からこんなに並んでたんじゃ、新型のスマホ、すぐに売り切れちゃうんじゃない？」

山田さん：「_____。みんながみんな一台ずつ買うとも限らないし。」

田中さん：「そうね、整理券か何か配られるかもしれないし、待ってみようか。」

- A オンラインで発売されるのを待ったほうがいいよ
B せっかく来たんだし、並んでみようよ
C 並んで待つのは、気が進まないよ
D 整理券があるか、聞いてみようよ

2 田中さん：「朝から_____、どうしたの？」

山田さん：「なんだか最近ついてなくて……。」

田中さん：「何かあったの？ 私でよかったら、話、聞くよ。」

- A あくびばかりして B 深呼吸ばかりして
C ため息ばかりついて D くしゃみばかりして

3 田中さん：「そのセーター、すてきですね。」

山田さん：「これ、実は、自分で編んだんですよ。」

田中さん：「へえ、そうなんですか。山田さんって、_____。」

A よく手が回るんですね

B 手先が器用なんですね

C 巧妙な手を使うんですね

D 頭が切れるんですね

4 学生：「先生、すみません。先週の授業のことなんですが……。」

先生：「はい、どうしましたか。」

学生：「_____。」

先生：「課題は今週末までなので、ほかの人に授業や課題の内容を聞いて、提出してください。」

学生：「わかりました。ありがとうございます。」

A あまり理解できなかったので、補講をして説明していただけませんか

B アルバイトがあるので休みたいんですが、かわりに課題を出していただけませんか

C 体調が悪くて休んでしまったんですが、その日の分の課題はどうしたらいいでしょうか

D 休講でしたが、今週補講の予定はありますか

5 山田さん：「もしもし。診察の時間についてうかがいたいのですが……。」

歯医者受付：「はい、当院の診察時間は平日の朝9時半から12時までとなっております。午後2時から7時まで診察しておりますが、こちらは予約制でございます。」

山田さん：「ということは、_____。」

歯医者受付：「はい。ただ、待ち時間が長くなることもございますので、ご予約の上、午後の時間帯の診療をおすすめしております。」

山田さん：「そうですか。じゃあ、予約をお願いします。」

- A 朝一番に来るのがよさそうですね
- B 平日の午後は予約が必要ないんですね
- C いつ行くにしても早めに行ったほうがよさそうですね
- D 平日の午前中だったら予約しなくても診てもらえるってことですか

Ⅳ _____のひらがなと同じ漢字で書くものを A～Dの中から一つ選びなさい。

1 将来は医療に たずさ わる仕事をしたいと思っている。

- A 専門分野について体 けい 的に知る必要がある。
- B 祖父が撮った写真が地元の新聞に けい 載された。
- C テレビで事故の様子を中 けい で伝えている。
- D この会社は、他社と提 けい して売り上げがアップした。

2 難民に無料で医療を ほどこ している団体がある。

- A 市は空き地に新しく高齢者向けの し 設を建設する予定だ。
- B 姉は4年間大学で経済学を専攻し、学 し 号を取得した。
- C 上司が会議の趣 し を簡単に述べた。
- D 首相は し 察のために地方都市を訪問した。

3 学校では校則に したが わなければならない。

A じゅう 来とは異なるエネルギー資源の開発が期待されている。

B 子どものころはよく怪 じゅう が登場するアニメを見ていた。

C ヘリコプターを操 じゅう するためには免許が必要だ。

D コピー用紙を補 じゅう しておくよう、上司に頼まれた。

4 ボランティア活動で、道 ばた に花を植えた。

A 若者は失敗を恐れず、大 たん に行動するべきだ。

B 彼は冷 たん で、周りから好かれているとは言えない。

C 彼女は考え方がいつも極 たん だ。

D 留学中に母の病気を知らされ、一 たん 帰国することにした。

5 会社の健康診断では身長を はか ることになっている。

A 商品の値段は箱の そく 面に書いてある。

B 漢字を知らなくても、文脈から意味が推 そく できることがある。

C 面接では質問されたら そく 座に答えなくてはならない。

D 原 そく として、試験中に席を立つことは許されない。

V 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。答えはA～Dの中から最も適当なものを一つ選びなさい。

(1) 「限界集落」という言葉を聞いたことがあるだろうか。

1988（昭和63）年に、高知県の過疎山村の実態を調査していた大野^{おおの}晃^{あきら}氏（当時・高知大学）が発案した概念で、高齢化率50パーセントを超える集落を指す。集落人口の半分以上が高齢者になると、集落の色々な生活共同が成り立たなくなり、やがては消滅に至る可能性がある。そのため高齢化の進行が進むもっと前の段階で手を打ち、集落の崩壊や消滅に備えていこうと、そういう考えから提唱されたものだ。

この約30年前の大野氏の議論は、あくまで注意を喚起し、消滅しないよう準備していこうというものだった。

だが今では、どこかで集落の消滅は避けられない運命にあり、日本中でそうした村の崩壊がじりじりと進んでいる——。限界集落というと、どうもそんなイメージをみながもってしまっているようだ。日本の山村や離島にはお年寄りばかりの村がある。荒れた

田畑。住まなくなった家。戸数が減り限界が来て、やがて村が消えていく、と。

だけど、ちょっとまって。皆さんの中で最近消えた村って聞いたことある人いる？

そもそも限界集落の語が示されたのは、今から約30年も前のこと。だいたい次々と村が消えていくのなら、消えた村はもっと頻繁に目につくものであるはずだ。

例えば、大野氏が最初に限界集落を確認したという高知県。ここでさえ消滅事例はほとんど聞かれない。あってもごくわずかだ。

僕は仕事柄、色んな地域をまわる方だが、各地で聞いても、依然として高齢化が理由で村を閉じたという話を聞くことはない。むしろ逆に戸数が少なくなっても、なおもしっかりと持続していこうとする村の姿をこそ、色んなところで目にするものだ。限界集落問題の提唱から30年たってわかることは、(2) むしろ「村はしぶとい」ということである。(中略)

限界集落は全国に1万カ所あるといわれている。だが、数は増えてもなかなか消えない。その理由はなんだろうか。

一つは、地方自治体がちゃんと機能し、守っているからである。

確かに、現実には20戸もあった集落が2戸、3戸になってしまえば、集落は地域としての役割を果たしにくくなる。だがそれはそれでしっかりと行政が支え、道路や水道などをふつうに維持さえしていれば、たとえお年寄りの一人暮らしであっても別にそう困ることはない。「行政に頼って存続するような集落なんか、早くなくなった方がいいんじゃないですか」と、そんな声がかえってきそうだが、そういつている君、行政サービスに頼って生きているということでは都会の暮らしも変わりはない。(3) 君自身もそうなのだ。

いや、むしろ都会の生活に比べれば、限界集落で暮らすお年寄りたちはそこまで行政に頼って生きてはいない。戸数は減っても互いに助けあっており、その支えあいには都会の暮らしに比べてかなり濃密だ。地域の共同管理も自分たちでできている。なによりそこに住む人の多くは野良仕事に出ているから健康。行政に頼っているのは、個人では確保が難しい公共インフラだけだ。

だが第二にもっと大きな理由がある。

それは家族の支えである。限界集落の高齢者は、たとえ一人暮らしでも家族から孤立して暮らしているわけではない。

一般に都市よりも農村で、それも山村や離島の方で、一夫婦あたりの子どもの数は多いといわれる。限界集落の高齢者たちにはたいてい子どもがおり、また孫がいる。その人たちは決して皆が遠くに行ってしまったわけではない。必ず誰かは近くにいて、高齢者の面倒を見ている。いやそれどころか、こうした山村のおじいさん、おばあさんのところに娘が自分の子ども(孫)を預けたり、畑や山のものをもらったりすることで、都

会の暮らしを支えていることさえある。要するに、離れて暮らしてはいるが家族は決して切れてはおらず、互いに支えあって生きているというわけだ。(中略)

家が生きている限り、どんなに過疎化が進んでも村はその力を保持し続ける。現実にはその地から排出した人々をつなぎとどめ、外から通わせたり、必要となれば帰らせたり、場合によっては新しい人を呼び込んだりして地域存続をはかるものなのだ。それが限界集落が長期にわたって維持されている理由である。

(山下祐介『地域学をはじめよう』より、一部表記を改めた)

問い1 下線部(1)「限界集落」について本文の内容に合っているものはどれですか。

- A 人口に対する高齢者の割合が50パーセント以上の集落が「限界集落」である。
- B お年寄りが住む村が「限界集落」であり、日本の山村や離島だけにある。
- C 過疎化によって将来必ず消滅すると考えられている村が「限界集落」である。
- D 「限界集落」は高齢者が住む家2～3戸で構成される村のことである。

問い2 下線部(2) むしろ「村はしぶとい」ということである とはどのようなことですか。

- A 筆者が話を聞いた村は行政サービスが行き届いていたということ。
- B 30年ぐらいかけて少しずつ村の数が減っていくということ。
- C 限界集落と言われていても、実際になくなる村は少ないということ。
- D 高齢化以外の原因で村がなくなってしまうことはないということ。

問い3 下線部(3) 君自身もそうなのだ はどのようなことを指していますか

- A 限界集落に住んでいる高齢者も、公共インフラに頼らずに健康に生活していること。
- B 限界集落から出て行こうかと考えている田舎の人も、助けあって生活していること。
- C 限界集落で一人暮らしをしている人も、道路や水道などを使っていること。
- D 限界集落はなくなった方がいいという人も、行政サービスに頼った暮らしをしていること。

問い4 限界集落が長期にわたって維持されている理由として、本文の内容に合っていないものはどれですか。

- A 住民同士で助けあい、地域を共同で管理できていること。
- B 地方自治体が公共インフラを整備していること。
- C それぞれの住民が家族から孤立して暮らしていること。
- D 離れたところに住んでいても家族で支えあっていること。

問い5 本文の内容に合っているものはどれですか。

- A 限界集落に住むお年寄りが都会に住んでいる家族の助けになっていることもある。
- B 限界集落は日本全国に約30カ所あり、年々増加している。
- C 一般的に人口が多い場所の方が一夫婦あたりの子どもの数が多いといわれる。
- D 山村や離島の村を出て都会に行った人が元の村に戻って生活することはない。